

## 第 45 回全宮古中学校春季柔道大会実施要項

- 1 主 催 宮古中学校体育連盟
- 2 後 援 宮古教育事務所・各市町村教育委員会
- 3 期 日 令和 8 年 1 月 24 日 (土) 13:30 競技開始  
(計量は当 12:15~12:30 時間厳守)
- 4 会 場 宮古島市立平良中学校 武道場
- 5 申込締切 令和 8 年 1 月 9 日 (金) 15:00 必着 (厳守)  
専門部長 平良中学校 濱川大輝 宛
- 6 申込方法 申込用紙に必要事項を入力し申込みデータを専門部長宛に校務支援で返信して下さい。校印の押された原本は監督会時に提出をお願いします。
- 7 監督会 令和 8 年 1 月 24 日 (土) 12:45 場所：平良中学校 武道場
- 8 参加資格 (1) 宮古中体連加盟校の生徒で、当該中学校の校長の認める生徒であること。  
(2) 宮古中学校体育連盟に登録している地域クラブ活動であること  
(3) 生徒の引率は当該校の校長・教員とし、地域クラブにおいては責任ある指導者・代表者とする。  
(4) 監督等は当該校の校長・教職員とし、教員以外の外部指導者は当該中学校長の認めたもので、地区で登録された者とする。  
(5) 宮古中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。地域クラブにおいては、各中央競技団体の倫理規定等に基づいて、沖縄県各競技団体等から処分を受けていない者であること。校長及び地域クラブの責任者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。  
(6) 選手は中学生らしく、競技者としてふさわしい身なりであること。
- 9 登録人員 (1) 団体戦 ①男子・・・選手3～7人、監督1名、コーチ1名の計9人  
※3人の場合は先鋒・次鋒をあげ、4人の場合は先鋒をあげる  
②女子・・・選手2～4人、監督1名、コーチ1名の計6人  
※2人の場合は先鋒をあげる  
(2) 個人戦 オープン参加とし、体重区分は以下の通りとする。

男子	50kg級	55kg級	60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級	90kg超級
女子	40kg級	44kg級	48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	70kg超級

## 10 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2025年4月1日施行ルール)「少年大会特別規定」及び本大会の申し合わせ事項による。  
※絞め技を禁止とする。施した場合は「指導」とする。「逆背負い投げ」(通称)「両袖を持って施す技」を禁止とし、かけた場合は反則負けとする。但し、「両袖を持って施す投げ技」については両袖を持って出足払い、支釣込足等を施して、相手を背部あるいは上部側面から着地させることまで禁止するものではない。
- (2) 試合時間は団体・個人ともに3分間とする。団体代表戦及び個人戦の延長戦(ゴールデンスコア)は時間無制限とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、団体・個人ともに「一本」「技有」「有効」または「僅差(指導の差2以上)」とする。個人戦においては、「指導」差1以内の場合は、延長戦(GS)を行って勝敗を決する。「技有」2つで「一本」とする。
- (4) 抑え込み時間は、5秒で「有効」、10秒で「技有」、20秒で「一本」とする。
- (5) 優劣の成り立ちは以下の通りとする。
  - ①【団体戦】「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」(「指導」差が2以上)
  - ②【個人戦】「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」(「指導」差が2以上)
  - ③【延長戦(ゴールデンスコア)】(団体戦の代表戦及び個人戦)
  - ④規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、スコアが同等である場合、もしくは、「指導」差1以内の場合、その試合はGSによる延長戦を行う。
  - ⑤延長戦(ゴールデンスコア)においては、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。

## 11 競技方法

- (1) 団体・個人ともにトーナメント方式、決リーグ(ベスト4)とする。
  - (2) チームの編成は体重の軽い順(先鋒~大将)に編成する。補員起用の場合も体重順に編成する。(但し、3名しかいない場合は先鋒・次鋒を空ける。4名しかいない場合は先鋒を空けた編成とする。)女子チームの編成は、2名しかいない場合は、先鋒を空ける。
  - (3) トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
    - ① チーム間における勝ち数の合計による。
    - ② ①において同等の場合は、勝ちの内容による。
    - ③ ②において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- ※代表戦に出場する選手は試合を行った者の中からチームで自由選出する。
- (4) リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
    - ① チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。  
率については、3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
    - ② ①において同等の場合は、直接対決の勝敗による。
    - ③ ②において同等の場合は、勝ち数の合計による。
    - ④ ③において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

- ⑤ ④において同等の場合は、負け数の合計による。
- ⑥ ⑤において同等の場合は、負けの内容により決定する。
- ⑦ ⑥において同等の場合は1名による代表戦を1回行ない判定する。  
(自由代表)
- ⑧ 団体戦において2校以上が同等の場合は、代表者によるリーグ方式で決定する。
- ⑨ 個人戦においても同上的方法で決定する。

12 表 彰 団体及び個人とも1～3位までを表彰する。

13 組み合わせ 団体戦・個人戦ともに本部抽選とする。

14 その他 (1) 柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・姓名入り)

- ① 布地は白とし、サイズは縦25～30cm、横30～35cmとする。
- ② 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
- ③ 書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書でもよい。)
- ④ 文字は、男子が黒色、女子は濃い赤色とする。

(2) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。

(3) 大会中、脳震盪受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の検査を受けること)

